

Elazzio

SEAT COVER



MAZDA

CX-3

専用シートカバー取付説明書

7020/7021

Clazzio

SEAT COVER

このたびは「Clazzio シートカバー」をお買い上げいただき、
誠にありがとうございます。

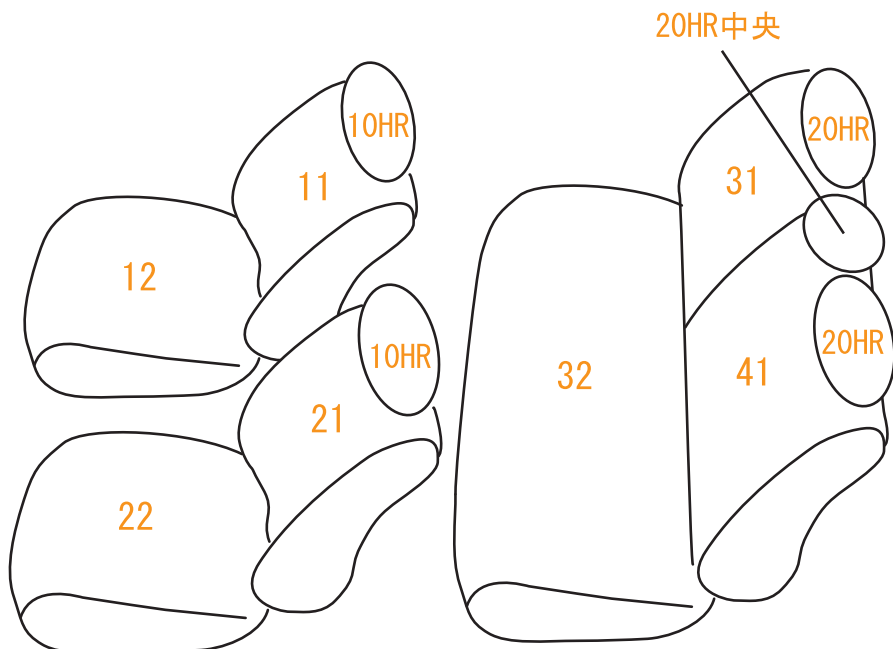
本説明書にはシートカバーの取付け方法・取り扱い・返品などに関するの
注意事項が記載されておりますので、装着前に必ずお読みください。

※ 本説明書中の掲載写真はサンプル品を使用しているため実際の製品やデザインと異なります。

INDEX

シートカバー装着前の注意事項	…> 1P～2P
警告 サイドエアバッグについて	…> 3P～4P
1 列目座面の装着方法（手動シート車）	…> 5P～7P
1 列目背もたれの装着方法	…> 7P～8P
2 列目座面の装着方法	…> 9P～11P
2 列目背もたれの装着方法	…> 11P～13P
ヘッドレストの装着方法	…> 14P～15P
完成図	…> 16P
1 列目座面の装着方法（運転席パワーシート車）	…> 17P～18P
アフターサービスと生地別メンテナンス方法	…> 19P～20P

本製品シート形状とパーツの名称



取付必要工具



- ① クラッツィオ 専用ヘラ (付属)
- ② ソケットレンチ (14mm)

シートカバー装着前に必ずお読みください

- 本製品が届きましたらシートカバーを装着される前に内容物を確認の上、必ずお客様のお車に仮合わせ（シートに装着せずに）して、お客様のシートパターンに合うことをご確認ください。シートカバーの各部品がどの位置かが分かるように、番号の入ったタグが商品の裏側に付いています。仮合わせの時点で、製品に何らかの支障があった場合は、お買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
事前に連絡が無く装着された後での、製品の返品・交換等につきましてはお受け出来ません。また、お客様の注文間違いによる製品の返品・交換等は、商品到着後1週間以内とさせていただきますので予めご了承ください。※カスタムオーダー、特注パーツ、受注生産品などは、装着前であっても返品や交換等をお受け出来ません。
- 梱包や運送の過程で本製品に使われている素材にシワができることがあります。正常に取り付けを行っていただくことで生地がなじみ、シワはある程度解消できますが、まれに跡が残る場合がありますので予めご了承ください。シワが気になる場合は、装着前にお買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
- 本製品は純正シートの機能（チャイルドシート固定フックやバックテーブル等）を損なわないように設計しております。（一部例外はあります）その為、背もたれや座面に穴開け加工をしているタイプのシートカバーがあります。
- 注文したものと違う商品が届いたり、製造上の不良または運送中に生じた内容物の破損がありましたら、ご購入された販売店までご連絡ください。商品を交換もしくは修理対応させていただきます。※交換対応商品が在庫切れの場合は多少お時間をいただく場合があります。予めご了承ください。
- 内容物に影響がない外装箱の破損、商品の細かい傷、シワ等は初期不良の対象外とさせていただきます。また装着後の商品は仕様違い及び初期不良を除き、返品・交換等致しませんので装着前に必ず確認等してください。また、装着時に加工等された商品に関しましても返品・交換等は致しませんので予めご了承ください。
- 座席への密着度が非常に高い設計となっている為、シートカバーの使用期間中に座席本体にダメージを与える場合があります。この点をご理解の上、ご使用ください。
なお、シートカバー装着に起因するダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。
例）座席本体に生じた傷、破れ、摩擦痕、シワ、ヘコミ、変形、変色、化学変化等

本製品に関する注意事項

- 本革やジーンズ等の染料を使用している素材や、新聞紙等の印刷物を長時間接触させると、本製品に色移りや本革等に粘着が生じることがあります。また衣類製品側にも色移りが生じる場合があります。
- 本製品を直射日光に長時間当てると、生地の表面が変化・変形・変色の原因となります。また、高温多湿の環境下では生地の硬化や収縮、カビが発生することがあります。
- 本製品は石油を原材料として使用しているため、臭いがかつく残る場合があります。装着されてから約1〜2週間で臭いは緩和されますが、気になる場合は本製品を換気の良い所に1週間程保管されてから装着してください。また本製品は塩化ビニールレザーを使用しています。燃焼時には塩化水素が発生します。廃棄される場合は個人で焼却せずに必ず自治体の処理方法に従ってください。

シートカバー装着時の注意事項

- 弊社のシートカバーはフィッティングを重視して設計しています。カバー全体に均一に力をかけるようにして、装着してください。またシートカバーを固定するパーツは強く引っ張りすぎると抜けたり切れる恐れがありますので、ご注意ください。
- ヘッドレストやアームレストといった小物類は、普通のシートに比べてカバーに負荷が掛かりやすくなっている為、カバーが破れないように慎重に作業を行ってください。
- シートカバーの背もたれ上部に加工しているヘッドレストの穴は、生地の種類によっては伸びにくいものもあるため、無理に入れ込もうとすると破れる恐れがあります。
- 取付説明書の順番通りにシートカバーを装着していただくと、作業がスムーズに進みますので、弊社では順番通りの装着をお勧めしています。またシートカバーの装着は明るく、地面が平らなスペースで行ってください。装着時に長時間車内のライト類を点灯状態（扉を開放されたまま等）にされるとバッテリーがあがったり弱まる原因となります。
- 製品の改良等により、本取付説明書の記載内容と一部製品の仕様が異なる場合があります。その際はご迷惑をおかけしますが弊社までお問い合わせください。
- 弊社のシートカバーは純正シートの機能を損なわないように設計していますが、シートカバーを装着することにより、シートにカバーの厚みが増す、カバー同士の摩擦が生じる等の原因で、シートの正常な動作を妨げる場合があります。
- 装着時（シート本体のパーツを取り外す場合等）及び、使用時に起きた車輛への損傷、車輛の不具合人体への怪我（シートカバー装着時に、シート本体の金属部分やプラスチック部分に接触する等して怪我をする恐れがあります）について、弊社では一切責任を負えませんので、十分に安全に注意し、装着を行ってください。

またいかなる場合でも商品代金と送料の合計金額を保証の上限とし、それ以外の保証は出来ませんので、予めご了承ください。購入に付随する、商品の交換、装着、取り外し等の工賃、装着等の不具合による工賃等の費用負担、交通費、遺失利益などの直接、間接の損害につきましても一切の責任を負いませんことをご理解ください。

「快適空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

⚠ 警告 サイドエアバッグについて

■SRSサイドエアバッグ装備車にシートカバーを装着される場合、正しい適合に合ったシートカバーを正しく装着出来ていないと、衝突時などにサイドエアバッグが正常に作動せず、重大な傷害を負うか、最悪の場合死亡につながる恐れがあり危険です。

※サイドエアバッグの対応基準は、正式な安全基準が無いため（※2024年3月現在）弊社独自の安全基準を設けております。

本製品は1列目背もたれの両横部分とSRSサイドエアバッグ展開部分に、SRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用しています。（SRSサイドエアバッグの有無に関わらず全製品）

その部分は他の部位に比べて縫製系が切れやすくなっています。装着時には過度の力がかからないようご注意ください。

⚠ 注意 ⚠

サイドエアバッグが装備されているシートでは、シートカバーの装着が正確にできていないと、サイドエアバッグが開かない可能性があり、危険です。シートカバーの装着は説明通り、正確に行ってください。

ここからはサイドエアバッグ装備車にシートカバーを取り付ける際、注意する点を説明しています。



1 SRSサイドエアバッグ展開部分は、シートの表面と側面の境界線に位置し、図の縫い目に配置されます。



2 シートを上から見た状態です。通常、サイドエアバッグ展開部分はシート表面と側面の境界に位置し、一般的には角ばった形状をしています。サイドエアバッグ展開部分はその角の頂点に位置します。



3 サイドエアバッグの展開部分と、シートカバーのSRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用している縫い目の位置（以降SAB対応の縫い目部分）を合わせます。※シートのサイドエアバッグ展開部分にはシートカバーの縫い目が必ず存在します。その縫い目はSRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用しています。



4 シートカバーをシートに取り付ける際は、シートカバーを半分ほど裏返し、シートのサイドエアバッグ展開部分とカバーのSAB対応の縫い目部分を合わせてから、カバーを装着します。

3P ▶



- 5 4番の図を拡大したものです。シートのサイドエアバッグ展開部分と、シートカバーのSAB対応の縫い目部分を合わせてください。



- 6 シートカバーをシート全体に取り付ける際は、5番の位置がずれないように、カバーをシート全体にかぶせます。



- 7 説明書に従って、シートカバーを正しく取り付けます。サイドエアバッグ展開部分とSAB対応の縫い目部分が合っているか確認します。



- 8 まず、シートの表面の中央と端の境目になる縫い目を指で押し、シートのくぼみにカバーの縫い目がしっかりと合っているかを確認します。



- 9 次に、シートカバーの表面側と側面側の生地を図のように引き伸ばし、カバーのSAB対応の縫い目部分が、サイドエアバッグの展開位置となる角ばった形状（2番参照）の角に位置することを確認します。この位置が合っていれば、シートカバーは正しい位置に装着されています。SAB対応の縫い目部分が側面側にずれていたりすると、サイドエアバッグの展開部分と位置がずれていることとなります。位置が合っていない場合はカバーの装着をやり直してください。

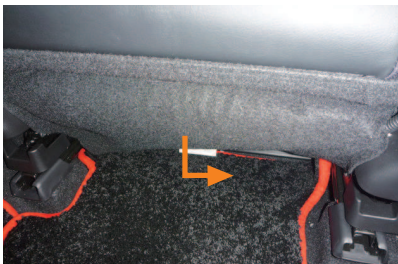


- 10 正しくシートカバーを取り付けることで、サイドエアバッグがシートカバーから正常に展開します。

Step 1

…> 1 列目座面の装着方法 (手動シート車)

※運転席パワーシート車の装着方法は17・18ページをご覧ください



- 1 始めに、シート後ろ側から底面を覆っている生地を取り外します。



- 4 カバーを裏返した状態で、シートのラインに合わせてかぶせます。



- 2 生地はシート底面の金属部にブラフックで固定されています。図の矢印方向にブラフックを外すようにすると、生地が取り外せます。



- 5 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。背もたれの角度を調整して、入れ込みやすい位置で行って下さい。



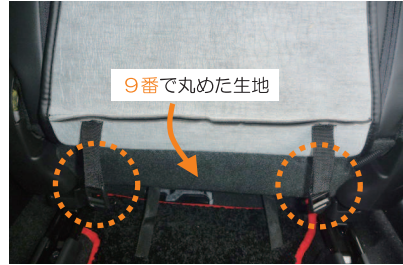
- 3 生地を取り外すと、このようになります。



- 6 入れ込んだ生地をシート後ろ側から引き出します。



- 7 カバー外側面の生地をシートとプラスチック部の隙間に入れ込みます。内側面も同様に生地を入れ込みます。



- 10 6番で引き出した生地をめくると、ベルトを通す為のバックルが付いています。



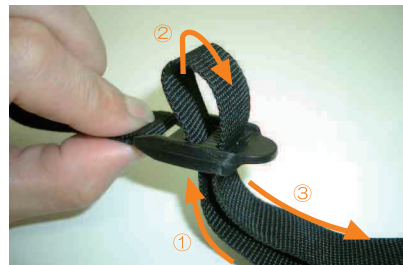
- 8 カバー前側に付いているベルトを、シート底面を通し、後ろ側から引き出します。この際、ベルトは図の金属バーの上側を通して下さい。



- 11 8番で引き出したベルトをバックルに通し固定します。



- 9 3番で取り外した生地を丸めておきます。



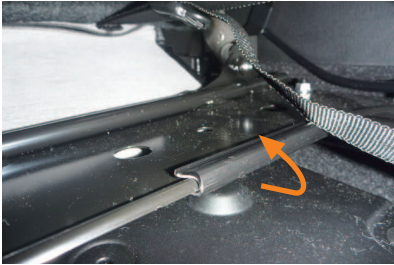
- 12 ベルトの通し方は、図の①～③の順番にベルトをバックルに通し、前後に引く事でベルトが締め固定されます。

Step 2

…> 1列目背もたれの装着方法

⚠ 注意 ⚠

サイドエアバッグ装着車の装着方法は、3ページと4ページの『警告：サイドエアバッグについて』と『注意』の装着説明を併せて確認し、正確にシートカバーを取り付けてください。



- 13 6番で引き出した生地先端に付いているブラックを、2番で取り外した生地の固定位置に引っ掛け固定します。



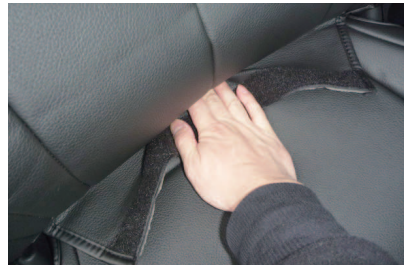
- 14 シート背面を正しく固定すると、このようになります。



- 15 カバーのラインを整え、1列目運転席座面の完成です。助手席も同様に取り付けます。



- 1 カバー側面に付いているファスナーを開いた状態で、シートのラインに合わせカバーをかぶせます。



- 2 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。背もたれの角度を調整して、入れ込みやすい位置で行ってください。



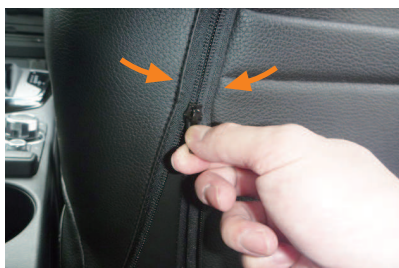
- 3 入れ込んだ生地を後ろ側から引き出します。



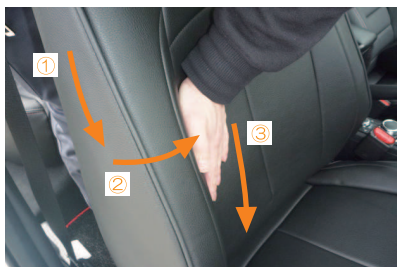
- 4 ヘッドレストの台座を取り出します。まず台座の片側のフチに生地をしっかりと入れ込みます。



- 5 生地の伸びを利用して台座を取り出します。



- 6 カバー両側面のファスナーを、生地同士を内へ寄せながら閉じます。余ったファスナーはカバーの内側へ入れ込みます。ファスナーを閉じる際、ベンチなどの工具を使用して無理やり閉じようとすると、ファスナーが破損する恐れがあります。



- 7 図の①～③の順番に側面の生地をシートに馴染ませるようにしながら、カバーのラインを整えます。



- 8 3番で引き出した生地と背もたれ背面の生地を、マジックテープで固定します。



注意

サイドエアバッグが装備されているシートでは、こちらの固定が正確にできていないと、サイドエアバッグが開かない可能性があり、危険です。



- 9 サイドエアバッグの展開部分とシートカバーのSAB対応の縫い目部分が合っていることを確認して下さい。カバーのラインを整え、1列目運転席背もたれの完成です。助手席も同様に取り付けます。

Step 3 ...→ 2列目座面の装着方法

※シートを車体から取り外す必要があります



- 1 最初にシートを車体から取り外します。シートは、図の○位置に固定用金具で固定されています。



- 2 ○位置の固定用金具は、シートと車体の隙間にあるレバーを、右方向にスライドさせる事で外せます。無理にシートを持ち上げると破損する恐れがありますので、必ずレバーを使い、固定用金具を外すようにして下さい。



- 3 金具を固定している台座の拡大図です。レバーを右方向にスライドさせる事で、シート側の固定用金具が上方方向に取り外せます。



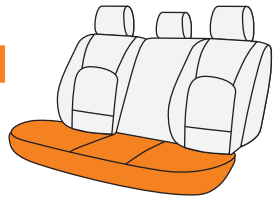
- 4 2ヶ所の固定用金具を外すと、シートの前側を浮かせる事が出来ます。この状態で、今度は○位置の固定用金具を外します。図のようにシートを膝で押し込むようにしながら金具が引っ掛かっているフックから固定用金具を矢印方向に持ち上げ外します。



- 5 4番の○位置の拡大図です。固定用金具は図のフックに引っ掛かっています。



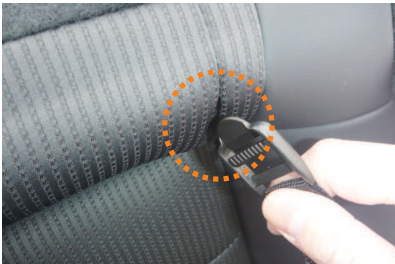
- 6 3ヶ所の固定を外すと、シートが車体から取り外せます。外したシートを車外の広いスペースに移動し、カバーを取り付けます。シートを移動させる際に車体を傷つけないよう、注意して下さい。



7 シート側の固定用金具を、カバーの加工穴に通します。



10 カバー後ろ側に付いているマジックテープを、シートに直接固定します。



8 図のシート位置にあるチャイルドシート固定用フック取り付け穴（計4ヶ所）に、カバーに付いているベルトを通します。



11 シートのラインを合わせながら、カバーをかぶせます。



9 8番をシート裏側から見た図です。



12 シートを裏返し、カバー前後のベルトを固定します。（計6ヶ所）



- 13 固定したベルトの内、真ん中の4本のベルトは、図のようにシートのスポンジに沿うように引っ張り具合を調整して下さい。
※引っ張り具合が強過ぎると、シートを元に戻す際にベルトが切れる恐れがあります。



- 14 カバー両端のヒモを結び留めます。始めに、一方のヒモで輪を作ります。作った輪にもう一方を通し、通したヒモを引くことでシートの下周りを絞り込み、ヒモが緩まないように結び留めます。



- 15 カバーのラインを整え、2列目座面の完成です。
2列目背もたれにカバーを装着後、取り外した逆の手順でシートを元に戻します。

※助手席側シートで説明します



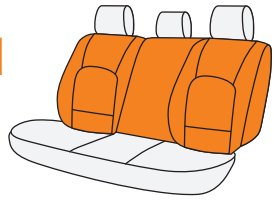
- 1 始めに、荷室にあるフレキシブルボードを取り外します。



- 2 助手席側背もたれに付いている中央席用シートベルトとバックルを車体から取り外します。シートベルトとバックルは、車体にボルトで固定されていますので、ソケットレンチ(14mm)等でボルトを外します。



- 3 ボルトを外すと、シートベルトとバックルが車体から取り外せます。ボルトを完全に抜き取り、バックル側を取り外しておきます。



- 4 カバー側面のファスナーを開き、シートにかぶせます。この際、取り外したシートベルトを、カバーの加工穴から取り出しておきます。



- 7 生地が入りにくい場合は、図のようにスイッチ部のネジをドライバーで緩めると、作業がしやすくなります。



- 5 シートのラインに合わせながら、カバーをかぶせます。1列目と同様に、ヘッドレストの台座をカバーの加工穴から取り出します。



- 8 中央席用シートベルトの台座をカバーの加工穴から取り出し、台座のフチに生地を入れ込みます。



- 6 シート肩口のリクライニングスイッチ部をカバーの加工穴から取り出し、スイッチ部のフチに生地を入れ込みます。



- 9 シート下から生地を入れ込みます。この際、生地はチャイルドシート固定用フックの上側を通すようにして下さい。



- 10 9番で入れ込んだ生地を後ろ側から引き出します。



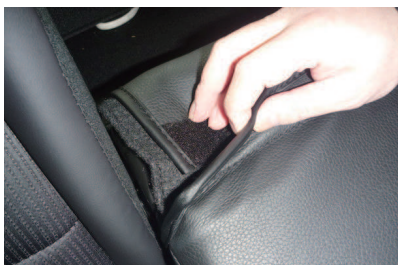
- 13 シートをロックする部分に、カバーの加工穴を合わせます。穴位置がずれないようにロックする部分のフチに、カバーに付いているマジックテープを直接固定します。



- 11 カバー側面のファスナーを、生地同士を内へ寄せながら閉じます。余ったファスナーは、生地の内側へ入れ込みます。



- 14 シート背面のチャイルドシート固定用アンカー部のフチに生地を入れ込みます。



- 12 10番で引き出した生地と、背もたれ背面の生地をマジックテープで固定します。



- 15 2番で外したシートベルトとバックルを元に戻し、カバーを整え、2列目助手席側背もたれの完成です。運転席側も形状は異なりますが、同様に取付けます。

Step 5

…→ ヘッドレスト の装着方法



※1列目ヘッドレスト



- 1 カバーの前後を確認し、カバーを裏返してヘッドレストのラインに合わせてかぶせます。板状のプラスチックが付いている方が前側です。
この際、ヘッドレストの先端まで生地が張るように、しっかりかぶせて下さい。



- 2 ヘッドレストのラインからずれないようにカバーをヘッドレスト全体にかぶせます。



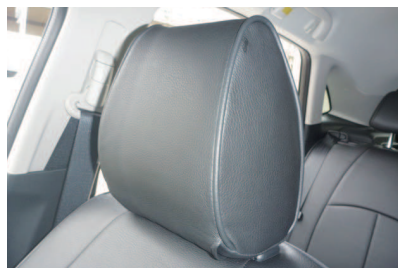
- 3 ヘッドレストをシートから取り外し、カバー底面のマジックテープを、生地同士を内へ寄せながら固定します。



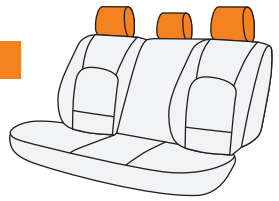
- 4 次に、ヘッドレスト前後の生地についているプラスチックを固定します。



- 5 プラスチックの固定方法は、カギ状になっているプラスチックに、板状のプラスチックの付いた生地を、生地ごと巻き込むように折り返し、挟み込みます。



- 6 カバーのラインを整え、1列目ヘッドレストの完成です。



※2列目ヘッドレスト



- 7 2列目ヘッドレストは、前側から後ろ側へかぶせていきます。板状のプラスチックが付いている方が前側です。



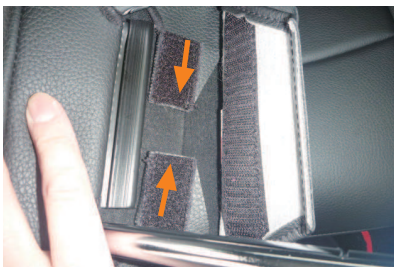
- 10 1列目と同様に、カバーをブラフックで固定します。



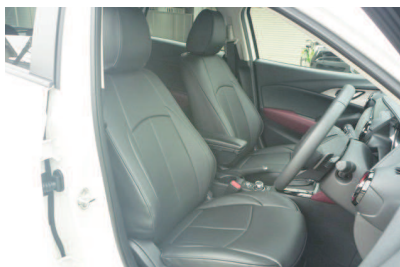
- 8 ヘッドレストのラインからずれないようにカバーをヘッドレスト全体にかぶせます。



- 11 カバーのラインを整え、2列目ヘッドレストの完成です。2列目中央席ヘッドレストも同様に取り付けます。



- 9 ヘッドレストをシートから取り外し、カバー底面のマジックテープを、生地同士を内へ寄せながら固定します。



△ 1列目



△ 1列目（背面）



△ 2列目



△ 2列目（背もたれ前倒し時）

Step 1

1 列目座面の装着方法 (運転席パワーシート車)

※助手席手動シート車の装着方法は5ページをご覧ください



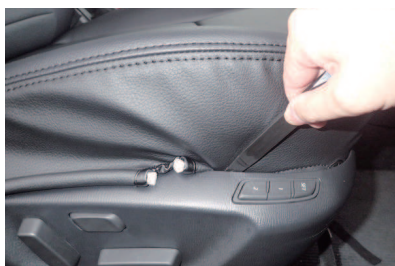
- 1 カバーを裏返した状態で、シートのラインに合わせてかぶせます。



- 4 シート全体にカバーをかぶせます。



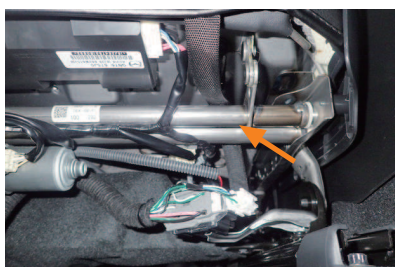
- 2 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。背もたれの角度を調整して、入れ込みやすい位置で行ってください。



- 5 カバー外側面の生地をシートとプラスチック部の隙間に入れ込みます。内側面も同様に生地を入れ込みます。



- 3 入れ込んだ生地をシート後ろ側から引き出します。



- 6 カバー前側に付いているベルトを、シート底面を通し、後ろ側から引き出します。この際、ベルトは図の金属バーの上側を通して下さい。
※シート位置を一番上まで上げた状態にすると作業がしやすくなります。



- 7 6番で通したベルトを後ろ側から引き出す際は、図のように純正生地の両側から取り出すようにします。



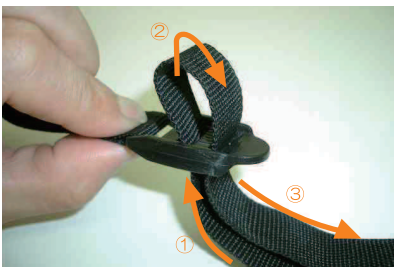
- 10 3番で引き出した生地の先端に付いているゴムに付属の金属フックを取り付けます。



- 8 7番で引き出したベルトを、3番で引き出した生地の裏に付いているバックルに通し固定します。



- 11 金属フックは、シート底面に引っ掛け固定します。



- 9 ベルトの固定方法は、図の①～③の順番にベルトをバックルに通し、前後に引く事でベルトが締め固定されます。



- 12 カバーのラインを整え、1列目運転席座面（パワーシート車）の完成です。助手席は、5ページからの手動シート車の装着方法をご覧ください。

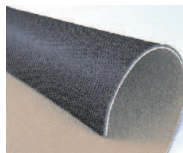


After Service

皆様の快適カーライフのために、安心できるアフターサービス

● 保証・単品パーツ販売・生地の販売

- 1 保証期間であれば、故意でない通常使用における糸切れや生地の破れが生じた場合、無償修理させていただきます。
※一部商品は対象外です。



- 2 シートカバーの補修及び単品パーツの販売をしています。

- 3 シートカバーと同色のソフトBioPVCレザーの販売をしています。
(巾135cm・メートル単位での販売となります)
キルティング仕様の生地は対象外です。



パーツ交換の際、お客様の装着期間や生地の生産時期によって若干の色の違いが見られることがありますので、予めご了承ください。

ご注文・お問合せは

株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

…> 生地別メンテナンス方法

ウルトラスエード

●ほこりや毛羽などの付着汚れ

エチケットブラシで軽くブラッシングして取り除いてください。

●全体の汚れが気になる場合

40度程度のぬるま湯に染みこませ固く絞った布で全体を拭いてください。乾いたらエチケットブラシで毛並みを整えるようにブラッシングしてください。

この作業は月一回くらいの頻度で行うと効果的です。



本革

普段は柔らかい布でやさしく拭き掃除をしてください。

または、市販されている本革クリーナーをご使用ください。クリーナーは直接吹き付けるのではなく、やわらかい布などにつけてからご使用ください（クリーナーの説明書に従ってください）。また、使う前に必ず目立たない部分で試し拭きをしてください。万が一変色したり風合いが変わってしまったりした場合、元には戻りません。

⚠️ ご注意

本革は非常にデリケートな素材です。熱や水に弱く、シミができたり変色してしまったりします。水やジュースなどをこぼした場合はすぐに拭き取り、お手入れを行って下さい。長時間放置しておくとも汚れやシミが取れなくなります。表面に積もったほこりは汚れの原因になる為、掃除機でこまめに吸い取って下さい。



PVCレザー

柔らかい布で乾拭きをしてください。

それでも汚れが取れない場合は水、もしくはぬるま湯で薄めた中性洗剤で拭き取り、水拭きをしてから乾いた布で乾拭きして下さい。



ファブリック

●ほこりや毛羽などの付着汚れ

ブラシ等で軽くブラッシングして取り除いてください。

●シミ汚れ

ぬるま湯を入れた容器の中に中性洗剤を数滴入れ、その中に布を浸したら固く絞って汚れ部分をたたくように掃除します。洗剤を入れすぎると泡立ちすぎるので、適度な量にしてください。掃除をした後は、洗剤が残らないようにしっかり水拭きします。また、水分が残ったまま放置すると汚れやカビの原因となりますのでしっかりと乾燥させてください。

※テニム生地の場合は、拭きすぎると色落ちの原因となります。一度色が落ちると元には戻りません。また、メンテナンス時に発生したダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。



www.11i.co.jp

「快適空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号 TEL.072-330-8000 FAX.072-330-8816